



日進中だより

学ぶ生徒 誠実な生徒 鍛える生徒

令和7年 2月 3日
第 12 号
さいたま市立日進中学校
TEL 048-663-1251
FAX 048-663-0834

『日進の顔』

校長 小熊 誠

1月8日(水)、3学期が始まってまだ2日目。2年生が館岩に出発しました。まだ暗い6時30分の集合、時間前に校庭に9クラス全員集合。しかも誰一人の遅刻者もいません。先生方から何も指示もなく、整然とした整列の中、始まった出発式。明け始めたほんのり赤い空。まるで、赤学年の出発を称え、応援しているかのような素晴らしい始まりでした。館岩での皆で決めたルールに基づいた生活、班でのスキー実習、そして歓喜のフォークダンスや、笑顔満面の雪中ムカデ。3日間、感染症等の帰宅者も無し。学校に戻り、達成感120%の実行委員と井土主担当との感動の握手。赤学年が挑んだ「挑戦」。見事に挑み切り、館岩に、日進の魂をしっかりと刻んで来てくれました。何事にも全力の赤学年、その姿がより美しく磨かれました。日進の新しい「顔」として準備万端です。

そして、今日の日進の「顔」黄色3年生。入試真っ只中です。私学との勝負も終盤を迎え、2月26日の県公立との勝負に向け、教職員も含め、オール日進、全身全霊で挑んでいます。今月は、そんな3年生全員と一人ひとりと向き合った、10月10日から始めた、私との面談の結果をお知らせします。「頑張ったこと」については、11号でお知らせしました。右の2つの円グラフを御覧ください。「嬉しかったこと」と「イヤだったこと」について説明します。「嬉しかったこと」の1番は、「頑張ったこと」と同じく「部活」です。大会等の結果だけではなく、仲間と共に過ごした時間に喜びを感じたようです。また、2番の「体育祭」については、初めて挑んだ「ムカデ競争」にクラスの一体感を感じたようでした。3番目の「合唱」は、学校でのリハーサルの後、各クラスが一機にまとまってきた団結感に、驚きと喜びを感じたようです。4番目の「修学旅行」では、2日目の夜の盛り上がりをした、学年レク「実行委員の出し物」に高揚感と感動を覚えたようです。やはり、仲間と共に時間や活動を共有し、一つになった時の喜びは格別だったようです。私たちは、今後も生徒たちに、そんな舞台を用意できるよう尽力します。次は「イヤだったこと」です。私たちが、真摯に受止め、改善策を考えて行かなくてはならないことを3つ挙げます。まずは、ダントツで1番だった「勉強・テスト」です。イヤだったテストは、部活の中心となった2年2学期中間テストと、学期に1回しかない3学期期末テストに集中しました。テストの在り方も検討していかなくてはと感じています。次は同率で3番となった「発表の授業」です。「皆の前で自分の考えを発表する」このこと自体に苦痛を感じているようです。まさにこれは、今の学習の根幹を揺るがしかねないことです。私たちは、さらに学び続けなければならないと強く感じました。そして5番目の「プール」です。後ろのマンションから丸見えのプール。かなり抵抗があるようでした。何とかしていかなければならないことです。日進に着任して3年。毎年実施している3年生との個別面談。一人たった10分程度ですが、私にとっては、直接生徒たちと、時間とその場の空気を共有できる、幸せで大切な時間です。また、直接生徒たちの考えを感じられる有効な時間でもあります。今年も、生徒たちの思いを大切に、学校の主役である生徒たちが、主役らしく思いっきり活動できるよう、教職員一同尽力して参ります。

最後に、3年生、県公立の学検まで23日。卒業式まで39日。義務教育集大成までカウントダウンとなってきました。保護者・地域の皆様、日進の「顔」黄色3年生。誇りと自信に満ち溢れた、最強の笑顔に御期待ください。

希望の登校 笑顔の活動 満足の下校

